

# 二次救急医療機関での救急患者受入実態調査結果（概要）

調査期間：平成22年11月（1ヶ月）  
 調査先：県内の救急告示医療機関（59機関）

**救急受入患者総数 …… 14,647人**  
 （比較対象：平成20年11月患者数16,362人）

## 1. 軽症患者数

### 全医療圏で軽症患者が減少

中等症以上の患者が増加しているにもかかわらず、軽症患者が減少したことにより受入患者総数が10.5%減少した。（県内6医療圏の全てで軽症患者が減少）

また、軽症患者の割合も80.2%から77.7%へ減少した。

ただし、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では、軽症患者の減少数以上に、中等症以上の患者数が増加したため、受入患者数は増加している。

## 2. 年齢階層別受診動向

### 70歳以上の高齢者層が増加

「70歳以上」の高齢者層では、中等症以上の患者の増加率が高かったため受入患者数が増加しているが、軽症患者数はすべての年齢階層で減少している。

特に「0～4歳」の階層では、H20年比27.5%と大幅な減少となっている。

# 8000の1日平均利用件数

・H20.11：4.5件    H22.11：11.7件

## 3. 来院形態別受診動向

### 自力で来院(walk-in)の患者が減少

自家用車や徒歩など、自力で来院するwalk-inの患者が全受入患者の72.2%を占めているものの、H20年比では、1.6ポイントの減（H20年73.8%）となっている。

特に、walk-inの患者における軽症患者数がH20年比13.9%と大幅な減少となっている。

## 4. 性別受診動向

### 女性の軽症患者の割合が減少

患者数ではH20年比男性13.1%、女性7.7%の減少となっているが、軽症患者の占める割合では、男性78.8%（1.5ポイント）、女性76.6%（3.5ポイント）となっている。

